



《校訓》金剛石の光を發揮し まわりを照らせ

六中だより

平成30年2月9日
第22号

文責
八代市立第六中学校
校長 杉田 明

学校教育目標：夢や目標に向かって、心磨き・体磨きを土台とし、自ら考え、学ぶ生徒の育成
スローガン：「キラッと輝く六中 ①一生懸命がかっこいい ②継続は力なり」

三学期の課題克服！ 仕上げの三学期、準備の三学期

平成29年度 2学期の自己評価			
評価項目		2学期	
確かな学力の育成	①基礎的な学習態度や習慣の定着	学習規律の徹底	2.9
		学習習慣の定着	2.6
		家庭学習の確認・指導	2.5
	②熊本型授業の展開と質の向上	基礎・基本の徹底	3.0
		思考力・判断力・表現力等の活用能力の育成	2.7
	③学力向上検証改善サイクルに沿った取組の充実	PDCAサイクル活用	2.9
各種問題の活用		2.6	
④授業力の向上	校内研修と各種研修会の参加	3.0	
	UDの視点に基づく授業づくり(特別支援教育)	2.7	
⑤個に応じた指導	個別指導の工夫	2.7	
	指導と評価の一体化	3.1	
⑥読書活動の充実	読書習慣の定着	3.1	
豊かな心の育成	①道徳教育の充実	道徳の授業づくり	3.1
		道徳的実践力の育成	3.0
	②人権同和教育の推進	研修の充実	3.1
		人権教育の視点に立った学校づくり	2.9
	③生徒指導の充実	規範意識の向上	2.9
		信頼関係の構築	2.9
		いじめ・不登校対応	3.1
		特別活動の充実	3.2
④体験活動の充実	様々な体験活動の推進	3.1	
	キャリア教育の充実	3.1	
健康・体力の育成	①学校体育の充実	体力の向上	3.4
		適正な運動部活動	3.3
	②学校保健の充実	保健教育と保健管理	3.4
		家庭・機関等との連携	3.3
③学校安全の充実	安全教育と安全管理	3.4	
	主体的な安全教育の充実	2.9	
④食育・給食指導の推進	食に関する指導の充実	3.2	
	栄養教諭の活用	3.0	
教育環境の充実	①目に見える教育環境の整備	「あいさつ」運動・挨拶清掃活動	3.0
		「3つのそろえる」運動	3.3
		情報の発信	3.1
		開かれた学校づくり	3.0
	②地域とともにある学校づくり	開かれた学校づくり 保小中、地域との連携	3.2 3.1

いよいよ2月に入りました。自己評価における三学期の課題は、「確かな学力の育成」です。特に「①家庭学習の定着」「②家庭学習の確認・指導」「③思考力・判断力・表現力等の活用能力の育成」「④各種問題の活用」「⑤UDの視点に基づく授業づくり」「⑥個別指導の工夫」がまだ不十分であるという評価でした。これらの課題解決に向けて、①の家庭学習の定着については、学校と家庭で協力して取り組む必要があります。生徒たちは毎日「きらりノート」に学習の状況など記入しておりますので、家庭でも学習の様子をチェックしていただき、御指導をお願いします。②③④⑤⑥については、本校職員が「できた」と言えるように指導を充実する必要があります。課題の克服に向け、仕上げの三学期として努力していきます。また、進級・進学の準備の学期として取り組ませていきたいと考えています。

雪景色ふたたび

例年はない寒波の襲来により2月5日(月)には朝から一面の銀世界でした。1月11日にも積雪がありましたが、今年は寒い日が続いています。生徒の中には雪だるまを作ったり、グラウンドで遊んだりする姿も見られました。帰る頃には、ほとんど雪は解け、東の間の雪国でした。



インフルエンザの罹患率減少

インフルエンザが流行し、学級閉鎖が2年2組、3年1組と続きました。1年2組も増加傾向にありましたが、持ち直して落ち着いています。2月9日現在で9人(150人中)です。すべてB型ですので、まだA型に感染する可能性もあります。予防の継続をお願いします。

小中一貫・連携教育の取組のまとめ

小中一貫・連携教育の取組を平成29年度も継続しています。職員研修として5月小中合同研修会①、6月中学校区レポート研修、小中合同研修②(六中1年授業参観)、8月夏季合同研修会、小中合同研修会③、11月小中合同研修会④、12月小中合同研修会⑤、また、児童と生徒の交流も様々実施してきました。そして、2月7日(水)に最後の職員研修⑥を行いました。これからも小学生が少しでも不安を減らし、中学校へ進学できるよう取り組んで参ります。